

教員業績

オオヤマ ハルヒコ

氏名 大山 治彦

職名	教授
専門分野	ジェンダー研究(男性学)、セクシュアリティ研究、家族社会学、市民活動論
学位	学術修士
資格、免許	専門社会調査士、認定心理士

学術論文・学会発表等

- 2009年 12月 日本の男性運動のあゆみ-＜メンズリブ＞の誕生-(共)[大東貢生]＜天野正子ほか編著『新編 日本のフェミニズム12 男性学』(岩波書店)＞
- 2010年 1月 ジェンダー J.マナー／P.タッカー『性の署名』(単)＜井上俊・伊藤公雄編『社会学ベーシック5 近代家族とジェンダー』(世界思想社)、157-166頁＞
- 2015年 8月 “Menzuribu”: A history of Men's movement in Japan 1970's-1990's(単)＜Japanese and Australian Mesculinites Symposium, by The centre for research on Men and Masculinities, University of Wollongong, Sydney Business school, Sydney, Australia.＞

その他

- 2016年 4月 現代家族とジェンダー・セクシュアリティ (単) ＜松信ひろみ編著『近代家族のゆらぎと新しい家族のかたち 第2版』、八千代出版、159-193頁＞
- 2016年 10月 スウェーデンにおける同性間の結婚ーわが国における制度設計のためにー (単) ＜日本ジェンダー学会編『日本ジェンダー研究』第19号、45-61頁＞
- 2018年 3月 男性相談とメンズリブ (単)＜濱田智崇・『男』悩みのホットライン編『男性は何をどう悩むのか』、ミネルヴァ書房、21-43頁＞
- 2018年 3月 男性の生き方とジェンダー (単) ＜愛知教育大学男女共同参画委員会編『ジェンダー教育の未来を拓く』、愛知教育大学出版会、166-178頁＞
- 2018年 10月 多様なセクシュアリティと、同性間の結婚、子育て (単) ＜日本家政学会編『現代家族を読み解く12章』、丸善出版、56-57頁＞
- 2019年 4月 地方自治体におけるDVの男性加害者への対応の現状と課題 (単)＜日本ジェンダー学会編『日本ジェンダー研究』第22号、13-25頁＞＜日本ジェンダー学会編『日本ジェンダー研究』第19号、45-61頁＞ (科学研究費 課題番号:26570018、15K01935)
- 2022年 4月 スウェーデンの性教育のあゆみーRFSUと義務教育を中心に (単) ＜季刊セクシュアリティ』106号、エイデル研究所、54-63頁＞ (科学研究費 課題番号:26570018、15K01935、18H00937、18K11911)
- 2022年 11月 男性危機(メンズクライシス)? : 国際社会の男性政策に学ぶ (共)[伊藤公雄、多賀太、大東貢生、大山治彦] ＜晃洋書房＞ (科学研究費 課題番号:26570018、15K01935、18H00937、18K11911)
- 2023年 4月 SOGIに敏感な視点による家族社会学へ向けて (単) ＜日本家族社会学会編『家族社会学研究』＞第35巻第1号、49-61頁＞ (科学研究費 課題番号:26570018、15K01935、18H00937、18K11911)

所属学会等

日本社会病理学会、日本家族社会学会、日本社会福祉学会、日本社会学会、日本ジェンダー学会、日本ジェンダー学会理事